

令和8年5月14日（木）

◆調査箇所：すがおこども園（豊後大野市三重町）

【概 要】

すがおこども園は、昭和55年に開園し、平成27年度からは幼保連携型認定こども園として、社会福祉に貢献、新地球人としての認識、命の尊重と和合の3本を教育の柱に、看護師の常駐、就学前課程特別講座の実施、エコ活動の推進、自給自足プロジェクトなど、独自の活動に取り組んでいる。

また、特別な配慮が必要な児童や家庭に応じた専門的な支援等を行う保育コーディネーターによる保護者面談への同席や保育士への指導等を実施している。

今回の調査では、業務概要及び取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、現地視察を実施した。



＜主な質疑等＞

- ・保育コーディネーターの活動における課題及び活動促進に向けた取組について
- ・保育士の人材確保の状況及び課題について
- ・家庭支援に対する課題及び今後の取組について

◆調査箇所：豊肥振興局、豊肥保健所

【概 要】

豊肥振興局から、組織及び人員、管内の概況、管内の特性、令和8年度重点項目及び本委員会が所管する主な事務（地区災害対策、交通安全、特定家畜伝染病防疫対策、エコパーク・ジオパークを活用した誘客促進）について、豊肥保健所から、組織の概要、管内の特徴、令和8年度行動計画（健康危機管理の拠点としての機能の充実、健康寿命日本一に向けた取組、グリーンアップおおいたの推進、保健所DXの推進による県民サービスの向上）について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・合計特殊出生率向上に対する取組について
- ・ユネスコエコパーク・日本ジオパーク認定前後の変化及び環境整備の取組について
- ・玉来ダム完成による防災意識の変化及び防災対策について

◆調査箇所：大分県防災航空隊（豊後大野市大野町）

【概 要】

防災航空隊から、防災航空隊の設置経緯と沿革、運航体制（組織、県・市町村の役割分担）、運航予算、運航状況（運航期間・時間、運航内容、運航実績、相互応援協定実績、令和7年11月大分市佐賀関大規模火災における活動状況）、防災ヘリコプター更新事業、防災航空隊機能強化事業等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、防災ヘリコプター等の視察を実施した。



＜主な質疑等＞

- ・県警ヘリ及びドクターヘリとの役割分担及び連携について
- ・整備士の確保及びパイロットの養成について
- ・隊員のローテーションについて

令和8年5月15日（金）

◆調査箇所：農事組合法人又井（豊後大野市三重町）

【概要】

又井区の里地里山は、令和7年12月16日に、地域生物多様性増進法に基づく自然共生サイトに市町村と連携する連携型として、県内で初めて認定された。

また、おおいたの重要な自然共生地域にも選定されており、地元小学校との観察会、アサギマダラの休息地として遊休農地にフジバカマの植栽、冬の田んぼに水を張る冬水田んぼの取組、田んぼの生物多様性向上10年プロジェクトへの参加などを行っている。

今回の調査では、業務概要及び取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、現地視察を実施した。

<主な質疑等>

- ・取組における負担及び課題について
- ・他団体への周知及び他団体との連携について
- ・ユネスコエコパーク・日本ジオパーク認定による住民及び観光への影響について



◆調査箇所：南部振興局、南部保健所

【概要】

南部振興局から、組織及び人員、本委員会が所管する主な事務（災害対応状況等、南海トラフ地震対策、特定家畜伝染病対策）について、南部保健所から、組織、人員及び業務の概要、管内の特徴、令和8年度行動計画（健康危機管理の拠点としての機能の充実、健康寿命日本一に向けた取組、グリーンアップおおいたの推進、保健所DXの推進による県民サービスの向上）について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。

<主な質疑等>

- ・地域包括支援システムの構築及び離島を踏まえた地域医療構想の在り方について
- ・危機管理及び災害対応の取組並びに佐伯市との連携について
- ・振興局の組織の在り方及び地域・市・本庁との連携について



◆調査箇所：合同会社えがお（佐伯市池船町）

【概要】

合同会社えがおは、住み慣れた地域で支え合いながら、社会保障制度に依存しない、自分らしい住まい方を実現するための取組として、地域住民や専門職なども加わることで、様々な生きづらさを持つ当事者が互いに支え合って暮らすごちゃまぜシェアハウスきよちゃん家を運営し、本取組は令和7年1月にNHKとNHK厚生文化事業団主催の第8回認知症とともに生きるまち大賞を受賞した。

今回の調査では、業務概要及び取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。

<主な質疑等>

- ・きよちゃん家の取組による地域への波及効果及び取組に対する課題について
- ・行政との連携状況及び連携に係る課題について
- ・きよちゃん家の今後の在り方について



◆調査箇所：九州油脂事業協同組合（関門油脂株式会社大分工場）（大分市宮河内）

【概要】

九州油脂事業協同組合は、家庭から排出される廃食油を地域で回収し、バイオディーゼル燃料（ＢＤＦ）の原料として再資源化することで、循環型社会の構築及び脱炭素社会の実現に貢献している。

また、県内流通事業者各社の協力のもと、家庭から排出される廃食油の回収ＢＯＸを県内各店舗へ設置し、回収事業を開始している。

今回の調査では、業務概要及び取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、現地視察を実施した。



<主な質疑等>

- ・飼料用油脂としての活用について
- ・農業用Ａ重油の代替燃料としての活用について
- ・家庭から排出される廃食油の回収及び活用に係る課題について

令和８年５月２０日（水）

◆調査箇所：中部振興局、中部保健所、由布保健部、衛生環境研究センター、動物愛護センター、食肉衛生検査所、消防学校

【概要】

中部振興局、中部保健所、由布保健部、衛生環境研究センター、動物愛護センター、食肉衛生検査所、消防学校から、管内の概況、組織・施策体系や本委員会が所管する主な事務（中部振興局の防災対策の推進、特定家畜伝染病対策、中部保健所及び中部保健所由布保健部の行動計画、衛生環境研究センターの検査実績及び調査研究課題、動物愛護センターの動物愛護管理に関する現状、食肉衛生検査所の検査事業の概要、消防学校の教育訓練の種別と体系等）について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・災害時の診療等に備えた薬剤師会、医師会、行政等との連携について
- ・災害発生時における情報連絡員の役割及び小規模市町村に対する支援について
- ・おおいたさくら猫プロジェクトの不妊・去勢手術の取組に対する県民の反応について

◆調査箇所：大分市社会福祉協議会（大分市金池南）

【概要】

大分市社会福祉協議会は、誰もが住み慣れた地域で個性をいかし、お互い支え合い助け合うことにより、安心していきいきと生活できるまちづくりを目指し、地域共生社会の実現に資するひとを中心とした取組を推進していくために、支え合って共に生きるひとが主役のまちづくりの基本理念の下、日夜、尽力している。

また、令和７年１１月１８日に発生した大分市佐賀関の大規模火災では、発災直後から困りごと相談窓口を始め、災害ボランティアセンター及び地域支え合いセンターの設置・運営など、関係機関や地域と連携しながら被災者支援に取り組んでいる。

今回の調査では、現在も継続して行われている支援の状況等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・大分市佐賀関の大規模火災の対応に係る課題及び改善点等について
- ・南海トラフ地震に備えた関係機関との連携体制について
- ・地区防災力向上に向けた取組について

◆調査箇所：障害者支援施設由布みこと寮（由布市庄内町）

【概要】

障害者支援施設由布みこと寮は、第一に利用者の方々の意思及び人権を尊重し、安心して快適に生活できる環境づくりに努め、個々の身体及び能力に応じて、必要かつ適切な支援を行うことを基本とし、生活の質の充実、サービスの質の向上を常に目指す基本方針の下、令和7年10月に障害者支援施設小松寮を由布みこと寮へと名称変更し、新築移転した。

今回の調査では、業務概要及び取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、現地視察を実施した。

<主な質疑等>

- ・短期入所の受入れ状況について
- ・他の施設にはない独自の取組について
- ・地域との交流状況について



◆調査箇所：こども・女性相談支援センター（大分市荏隈町）

【概要】

こども・女性相談支援センターから、組織・人員及び施設の概要、一時保護所等の施設整備、中央児童相談所（大分支所を含む）の概要（児童虐待相談の状況、一時保護の状況、専門機能強化、市町村への支援、里親養育の推進と支援）、女性相談支援センター・女性自立支援施設の概要（相談受付、一時保護、女性自立支援施設、退所者へのアフターケア、相談支援の専門性の確保、市町村への支援及び関係機関との連携強化）、令和8年度重点課題への取組について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、現地視察を実施した。

<主な質疑等>

- ・人口比率を考慮した児童虐待相談の状況及び大分市以外からの一時保護の状況について
- ・児童虐待対応件数及び一時保護入所児童数等の傾向分析について
- ・児童虐待の潜在的ケースへのアプローチ方法及び工夫について



令和8年5月26日（火）

◆調査箇所：タデ原湿原（玖珠郡九重町大字田野）

【概要】

自然保護推進室から、国立公園等施設整備事業（タデ原湿原散策道のバリアフリー化）の現状・課題、令和8年度の事業内容、事業実施により期待される効果、登山道補修や植生復元のための株式会社ヤママップとタッグを組んだクラウドファンディング、令和8年9月5日から6日に開催される第15回全国草原サミット・シンポジウムinここのえについて説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、現地視察を実施した。

<主な質疑等>

- ・野生鳥獣による被害の現状、課題及び対策について
- ・気候変動による生態系への影響について
- ・クラウドファンディングの取組状況と課題について



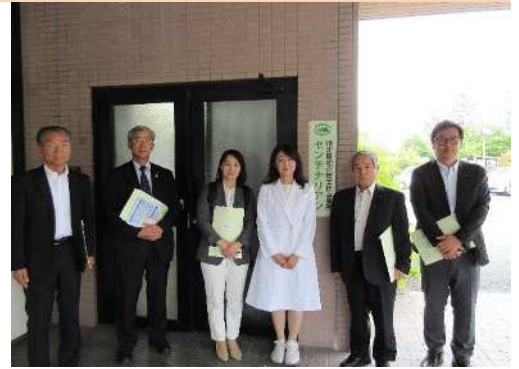
◆調査箇所：介護老人保健施設センテナリアン（日田市大山町）

【概要】

介護老人保健施設センテナリアンは、医療、看護、介護からリハビリテーションに加えて、栄養管理などのサービスも提供し、高齢の方や障害のある方など、利用者本人や家族が安心した在宅生活を続けられるよう支援している。

また、令和5年度に、介護職員の働きやすい職場環境づくり厚生労働大臣奨励賞を受賞したことに加え、令和8年には、ふくふくプレミアム認証の第1号認証事業者になった。

今回の調査では、業務概要及び取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、現地視察を実施した。



<主な質疑等>

- ・介護人材確保における現状、取組及び課題について
- ・職員数及び施設利用者数並びに施設運営の工夫について
- ・2040年問題に対する課題及び要望について

◆調査箇所：児童育成支援拠点ひなた（社会福祉法人清浄園）（日田市中城町）

【概要】

児童育成支援拠点ひなたは、令和5年に開設し、日田市のこどもたちを対象に、地域のこどもたちが家や学校以外に安心して過ごせるもう一つの居場所として、スタッフや友達と日々の時間を共有する中で、こどもたち一人一人の生き抜く力を育めるよう、安心・食事・生活習慣・学習・体験の五つの機会を提供している。

また、併設された児童家庭支援センター陽（ひなた）と連携することで、支援が必要な児童に食事の提供や生活習慣の形成、学習支援等を提供している。

今回の調査では、業務概要及び取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、現地視察を実施した。



<主な質疑等>

- ・子育て世帯訪問支援事業の取組における工夫について
- ・家庭及び学習支援における学校との連携について
- ・児童家庭支援センターとの役割分担及び連携について

◆調査箇所：西部振興局、西部保健所

【概要】

西部振興局から、管内の概況、組織・業務体系、本委員会が所管する主な事務（西部地区災害対策本部組織、防災関係研修・会議、地域防災力の向上、大分県西部地域キッチンカー連絡協議会と市町のマッチング、災害への備え、防災訓練の充実、大規模火災対策、積雪対策）について、西部保健所から、組織及び主要業務等、管内の概況、重点事項と対策（令和8年度行動計画）及び福祉の概況（生活保護及びその他福祉の状況）について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・管内の主要死因別死亡割合上位である老衰と健康寿命との関係性について
- ・こころの健康づくりの取組状況及び自死の状況並びに対策について
- ・本庁が直接実施している事業に対する情報共有及び連携について

令和8年5月27日（水）

◆調査箇所：中津児童相談所（中津市中央町）

【概要】

中津児童相談所から、業務の概要、管轄地域、沿革、組織・職員構成、庁舎の概要、令和7年度業務の実績（相談業務、一時保護業務、専門機能強化、関係機関との連携）及び令和8年度の重点課題への取組について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・相談時に留意している点及びA Iに促された相談に対する今後の対応について
- ・一時保護の相談状況及び性質について
- ・各種相談に対する職員体制及び関係機関との連携について

◆調査箇所：宇佐市見守りネットワーク協議会（宇佐市大字上田）

【概要】

宇佐市見守りネットワーク協議会は、医療・法律・福祉の専門職団体と地域の関係者等が連携し、成年後見人等を取り巻く課題等について協議していくことを目的とした宇佐市成年後見制度利用促進協議会を令和2年12月に改編し、成年後見制度の利用促進だけでなく、制度の狭間にいる支援が必要な人を早期に発見し、迅速かつ総合的な支援を行っている。

また、福祉の現場における問題を議論する部会や金融機関が参加する金融部会を設置し、それぞれの現場が抱える課題や問題点を協議する運営を行っている。

今回の調査では、業務概要及び取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・通報以外の相談状況及び協議会による解決方法について
- ・相談における弁護士との連携及び家族への関わり方について
- ・消費生活相談員の雇用状況及び雇用に係る課題について

◆調査箇所：北部振興局、北部保健所、豊後高田保健部

【概要】

北部振興局から、管内人口の推移、組織及び人員並びに本委員会が所管する主な事務（防災関係、特定家畜伝染病対策、交通安全活動、青少年の健全育成、地域未来創造総合補助金による支援）について、北部保健所及び北部保健所豊後高田保健部から、組織の概要、管内の特徴、令和8年度行動計画（健康危機管理の拠点としての機能の充実、健康寿命日本一に向けた取組、グリーンアップおおいたの推進、保健所DXの推進による県民サービスの向上）について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・新興感染症に備えた課題及び対応について
- ・防災に係る職員の研修状況及び関係機関との連携体制について
- ・自転車交通ルールを含めた交通安全対策への取組について

令和8年6月3日（水）

◆調査箇所：おおいた里親養育支援センターchields（大分市大字三芳）

【概要】

おおいた里親養育支援センターchieldsは、令和8年4月1日から運営を開始し、里親及び小規模住居型児童養育事業と家庭から離れて生活しているこどもを民間ノウハウと専門性を活用した支援を行っている。

また、里親制度の普及啓発や里親の募集から、里親登録前や更新時の研修や養育トレーニング、こどもと里親等との交流や関係調整のマッチング、養育中の里親等に対する相談対応や養育支援、委託児童の自立支援やアフターケアまでを一貫して切れ目なく支援している。

今回の調査では、業務概要及び取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、現地視察を実施した。



＜主な質疑等＞

- ・養育里親及び養子縁組里親登録数の確保状況について
- ・里親委託のマッチング方法について
- ・現状では里親が利用できない支援・制度に対する今後の拡充について

◆調査箇所：東部振興局、東部保健所、国東保健部

【概要】

東部振興局から、管内の概況、管内の人口推移等、組織及び人員並びに本委員会が所管する主な事務（災害対策・危機管理、高齢化集落対策（ネットワーク・コミュニティ推進）、農福連携に関する取組）について、東部保健所及び東部保健所国東保健部から、組織の概要、管内の特徴及び令和8年度行動計画（健康危機管理の拠点としての機能の充実、健康寿命日本一に向けた取組、グリーンアップおおいたの推進、保健所DXの推進による県民サービスの向上）について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・お達者年齢が高い要因及び県・市町村の取組について
- ・医師不足等による医療体制の維持について
- ・能登半島地震を踏まえた災害対策及び半島特有の孤立集落対策について

◆調査箇所：くにさきエコシステム株式会社（国東市国東町鶴川）

【概要】

くにさきエコシステム株式会社は、持続可能な地域社会を実現するために、地域循環システムの確立と地域活性化を目指して、地域のあらゆる廃棄物を資源にするをスローガンに、社員一人一人が環境職人を目指している。

同社は、国東市のくにさきわくわく油田プロジェクトと連携し、市内の学校・公民館・企業などに設置されたわくわく油田と称される廃食油（使用済み天ぷら油）の回収拠点から回収した廃食油を高純度バイオディーゼル燃料へと精製・使用することで、資源の市内循環を推進している。

今回の調査では、業務概要及び取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・廃食油の回収拠点数と回収費用の関係性について
- ・精製費用を考慮した事業実施の現状と課題について
- ・全県への拡大に向けた今後の展開について